

さいたま市介護支援専門員協会 (埼玉県)

研修やサロンの開催  
広報活動にも注力

さいたま市は、2001年に浦和、大宮、与野の3市が合併して誕生しました。それぞれの市にあったケアマネジャー連絡会が、合併を機に融合する形で当協会はスタートを切りました。

2003年には政令指定都市に移行して9つの行政区が発足、2005年には岩槻市を編入合併して10区となりました。当協会のロゴマーク(下図)は、「人」が支え合い、皆で力を合わせ色とりどりの幸せの花を咲かせよう、とのイメージでデザインされています。各区のシンボルカラー10色を使用して「ネットワークの和」という意味も込めています。

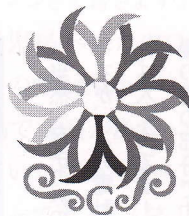
当協会の活動の主軸は研修会の開催で、これは、執行部主催による「全体研修」、各区居宅ケアマネ幹事会による地区ごとの「サロン活動・研修会」、そして後述する「施設ケアマネ研修会」と大きく3つに分けられます。また、行政や医師会、サービス事業者連絡協議会等との共催研修にも取り組み、

各団体との連携を図っています。

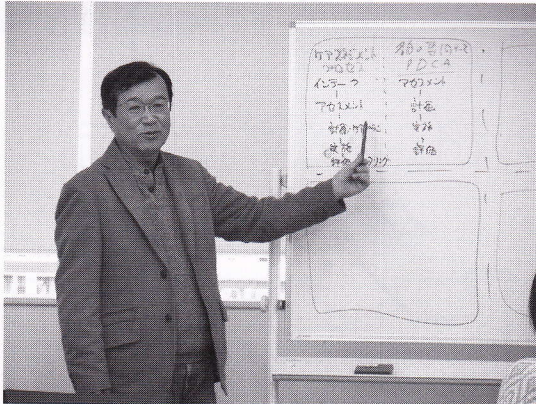
広報活動にも力を入れています。広報誌『PARTNER SHIP』は季刊で、この春にはVol.41をお届けできました。主に研修会の報告を掲載しています。近年はホームページも充実させ、当協会主催の研修案内、広報誌のバックナンバー閲覧はもちろん、関連団体の研修会や介護保険関連の最新情報等もアップしています。また、トピックスとして、執行部役員によるさいたま市長との懇談会、ローカルラジオに出演した会長の写真などもご覧いただけます。

そのほか、行政主催による「介護の日フォーラム」への参画も毎年の行事となり、また、ショッピングセンターで開かれる「健康・福祉フェア」にも毎年招かれ、会長が講演を行っています。

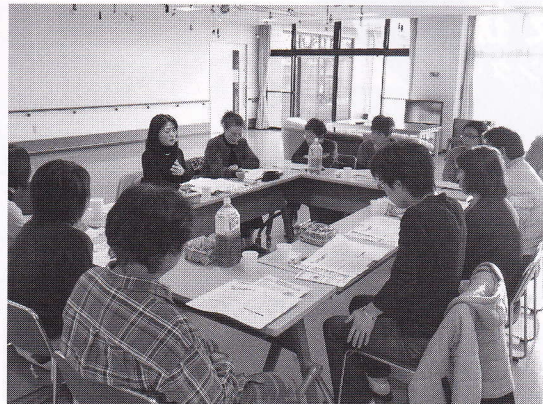
当協会の研修でユニークなのは、通常総会の後の基調講演に登壇する講師がバラエティーに富んでいることです。専門知識を学ぶ王道の研修はもちろん、地元さいたま出身、もしくは縁のある方々を招き、専門外のお話に耳を傾けたこともあります。地元銀行の社長や経済学者、元NHKアナウンサー、地元FM局の人気DJ。2016年は、ミュージシャンのダイヤモンド☆ユカイさんが演壇に登壇しました。とりわけ印象深



私たちのシンボルマーク。カラーでお伝えできないのが残念



峯尾先生の  
研修会。毎  
年好評を博  
しています



サロンは、  
施設ケアマ  
ネの交流と  
憩いの場デ  
ス

いのは、控室で色紙に虫の絵を描いてくださった解剖学者の養老孟司さん。タレントの荒木由美子さんが語る義母の介護体験を、涙を流しながら聞いたこともありました。

## 施設ケアマネも横のつながりを

続いて、「施設ケアマネ研修会」について紹介します。活動は2006年から。きっかけは、施設ケアマネである役員同士の「居宅ケアマネの研修はたくさんあるけれど」、「施設ケアマネは横の（地域での）つながりが少ない」といった雑談だったと記憶しています。

施設ケアマネの勤務形態は、専任、相談員兼務、介護職兼務などさまざまであることから、研修会を平日の日中に開催することは難しく、夜間もしくは土曜日に行い、案内文書も早めの発送を心掛けています。

研修会は、サロンを含めて年に3~4回。過去には、認知症介護指導者による講義演習、地元病院医局秘書による接遇研修が好評で、数年続けて開催しました。とりわけ、開始以来10年間、毎年欠かさないのは、神奈川県立保健福

祉大学の峯尾武巳先生による、ICFの視点を生かしたアセスメント、およびケアプラン作成の研修会です。ここ数年は、先生が提唱するリフレクションの手法を用いた事例検討会を連続して開催。好評につき、居宅ケアマネ向けにも数回、研修を行いました。また先生の発案もあり、成果を事例集としてまとめることができました。ちなみに、峯尾先生も埼玉県出身。県内施設で職員をされていた経緯もあり、地元縁のある講師のお一人です。

年度の初めには「施設ケアマネサロン」を開催。コミュニケーションスキルや

感染症対策など毎回テーマを決めての情報交換会ですが、進行はフリートークなので話は次第に脱線します。しかし、横のつながりが少ない施設ケアマネ同士が互いに知り合い、仲間づくりができる機会なのでそれで良いと思っています。現在の役員もサロンに参加したことを契機に仲間になってくれた人たちです。

市内のケアマネ全体の資質が向上しネットワークの輪が広がることを目指し、今後もさまざまな研修会を継続していきたいと思っています。

執筆：さいたま市介護支援専門員協会  
 研修・ネットワーク推進委員会副委員長（施設担当）深見 哲

### さいたま市介護支援専門員協会（埼玉県）

概 要

設立	2001年
会長	宮本好彦（在宅介護支援センター勤務）
会員数	272名（2016年5月時点）
事務局	埼玉県さいたま市北区日進町2丁目1864-10 JS日進（さいたま市社会福祉協議会内）
目的	介護支援専門員の資質向上とネットワーク化、専門的知識と技術の向上
活動内容	研修会（全体研修、各区研修、施設ケアマネ研修）の開催、広報誌（季刊）の発行、医師会との連携など
年会費	5,000円（年度後期入会者は2,500円）
ホームページ	http://www.saitamashi-keamane.jp TEL：048-782-6839 FAX：048-782-6840